

みんなの「なんなの?」を伝えるこども記者のための新聞



# 信毎こども記者ニュース

発行/信濃毎日新聞地域活動部 〒380-8546 長野市南県町657 TEL.026-236-3110 FAX.026-236-3193

no.3

## こども記者 NIE大会で紹介



Newspaper in Education



信毎こども新聞の紙面などをパネルで紹介しました(準備の様子)

**活動パネル展示**  
**全国へアピール**

大会には、全国から小中学校、高校の先生など約1000人が集まり、パネル展示もたくさんの方が見学していました。大会は、討論会や公開授業などをして、授業で新聞を活用するにはどうしたらいいかなどを考えました。

展示は、信濃毎日新聞社の「こども新聞コンクール」「中学生スクラップ作品コンクール」の応募作品など一



こども新聞コンクールの受賞作品も展示

新聞社や学校などが取り組んでいる「NIE(エヌ・アイ・イー)」という活動を知っていますか。「教育に新聞を」という意味の英語を略した言い方です。そのNIEの全国大会が7月30、31日に長野市で開かれ、信毎こども記者のみなさんの活動をパネルにして紹介しました。

緒に、信毎こどもスクールで取材しているこども記者や取材教室の写真、こども記者が書いた記事がのった「信毎こども新聞」の紙面などを大きくして並べました。

先輩記者も活躍中!

### 高校生記者が速報新聞を発行

会場で取材→執筆→レイアウト→印刷→配布

NIE全国大会の会場では、松本美須ヶ丘高校と豊科高校の新聞委員会の生徒5人が、大会の様子をいち早く伝える速報新聞「長野NIE新聞」を2日間で合計5号作りしました。講演や来場者取材し、会場に特別に設けた編集室で原稿を執筆。取材では、携帯電話のメールでメモする高校生記者の姿も。新聞の紙面はパソコンで制作し、高速印刷機をのせた「な1のちゃん号」で印刷しました。刷り上がったばかりの新聞を、高校生記者から直接受け取った来場者たちはあまりの速さに驚いていました。



見出しも高校生記者たちで付けました

速報新聞ができるかどうか初めは不安でしたが、実際作ることができて自信ができました。信毎の記者の人にアドバイスを受けて、講演の要点をまとめるコツがつかめました。新聞を手渡した時、「よくできてるね」と言ってくれる人もいて、うれしかったです。

豊科高校3年・生駒美海記者



### インタビューの心がまえ その2/3

#### ⑤相手の顔を見る

インタビューに限らず、人と話をする時は、なるべく相手の顔を見て話す。

#### ⑥自分のレベルで話を聞く

インタビューができて、その話が難しすぎて分からないのでは意味がない。難しい言葉や分からないこと、聞き取れなかったことがあったら、恥ずかしくなく聞く。

#### ⑦相手の話に興味を示す

相手の話に興味を示して、相手の話を楽しむ。すると、相手に気持ちよく話してもらおうことができるだけでなく、思った以上のことが聞けるかもしれない。

### 記者の

## 極意 その3

記者にとって、大切なことを伝えています。

みんな最初は一年生

ここだけのヒミツ! ベテラン記者の失敗談

3本目 主催正道記者

伝えたい 気持ちが大切

記者になって来年で20年になります。今でも記事を書くのにあれこれ悩んでいますが、新人のころは本当に原稿が書けませんでした。原稿が書けないパターンがいくつもありました。一つは、たくさん取材して取材で聞いて、その中から何を書いたらいいかわからなくなってしまう時です。一日中、凍りついたように机に向かっていたまま何も書けず、デスクに「いつまでかかっているんだ」と怒られて...

最初は何も書けなくても、たくさん書いていくうちに、だんだんと速くなり、聞き忘れも減ってきます。記事のうまい下手より大切なのは「このことを記事にして、みんなに伝えたい」という気持ちです。

は、先輩やデスクに、恐る恐る、取材したことを話してみます。すると、「それは面白い」「初めて聞いた」とか言ってくれ、ポイントが分かってくれます。たくさん取材することは良いことです。その時に記事にできなくても、将来生かせる知識にもなります。デスクでも直しようがないのは、取材がしっかりできていない時です。

相手の人の考えを理解できていなかったり、行事の予告なのに始まる時間を聞いていなかったり。取材した相手に謝って何度も取材し直したこともあります。取材する前、何を聞くか書き出ししておくのも対策です。